

## その1: 数字が好きになると同時に、数字に強くなります

- ①家庭ではみかん等を使って、一個、二個・・・と説明しますが、何回もみかんを持ちだしてやる訳にはゆかず、どうしても理屈で覚えさせようとして無理がでてきます。
- ②そろばんでは珠の数がみかんにあたり、繰返し珠を入れる練習をしますので、理屈ではなく体で覚えられ、自然と数の概念が身に付きます。

## その2: 集中力がつく

- ①そろばんでは 数字を見たり聞いたりして、それを頭で変換して、そろばんに置くという複雑な動作をしますので、集中力が必要です。
- ②5～10分の短時間にどれだけ問題を解けるか・・・を練習するので、自然と集中力が身に付きます。

## その3: 暗算は記憶力向上、パターン認識力の向上につながる

そろばんをある程度出来るようになると、次はそろばん式暗算に進みます。暗算は以下の様な、動作を行います。

- ①頭にそろばんの図を描く
  - ②目や耳から入った数字を置いてゆく
  - ③常にそろばん絵を頭に描きながら数字を入れて行く
  - ④最後に頭にあるそろばんの図から答えを出します
- 以上の動作は全て右脳でやっていますので、右脳が司っている記憶力、パターン認識力が鍛えられます。

## その4: 人生のミニ体験を経験できる

塾では、以下の①～④を繰返し経験致します。

- ①級の取得計画を立てる ……P
- ②検定試験を受ける ……D
- ③結果で不合格の場合は反省し、  
合格の場合は達成感を得る…C
- ④反省によって出てきた対策を考えたり、  
更にその上を目指す…A

上記のPDCAをどんどんと経験することにより、これからの試験勉強、人生への対応が自然と身に付きます。

